

朝倉市在住 Hさんの住まい

薪ストーブとホームシアターなど 暮らしを楽しむ 純和風の住まいが完成

キャンプと映画が好きなHさん一家。
薪ストーブでキャンプ気分を味わい、ホームシアターで映画三昧!
好きなモノに囲まれた暮らしがココに!



白壁の塀に合わせた
古民家風の家づくり

同一敷地内に2棟の建物があり、母屋にはご両親が、離れにはHさん一家が暮らしていた。ご両親が他界した後も、一家は母屋に移らず、離れでの暮らしを続けていたそう。「父の一周忌の際、父の友人から「うち(母屋)に住まなやうも」と言われ、最初はリノベーションをしようと考え、周りに相談し始めました」と、ご主人は当時を振り返る。

「ハウスメック社」との出会いには知人の紹介。知人から「我が家はハウスメック社で建てたら、一度見においで」と声を掛けてもらい、見学させてもらったことが始まり。当初はリノベーションを検討していたが、現地調査をしたところ思いのほか、建物の傷が少なく、建て替える必要がほとんどないことが判明。旧家は取り壊すことになっただけ

家づくりの
お宅訪問
Interview with new house!

REPORT #00

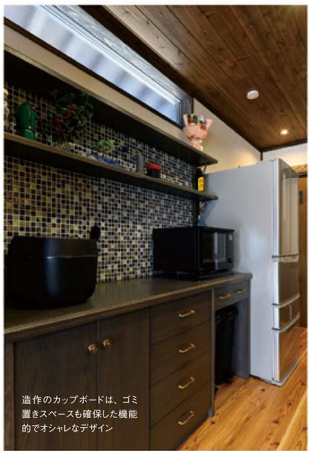


ブルーのモザイクタイルが目まぐるしくカッボード。見えるところにはモノがないのでスッキリ!

天然木とタイルが調和した
ナチュラルモダンなキッチン。



右、扉にもブルーのデザインガラスが使われており、アンティークのようなイメージを演出。/左、室内の壁はスペイン漆喰を使用。洋と和が調和した空間に仕上がっている



造作のカッボードは、ゴミ置きスペースも確保した機能的でオシャレなデザイン

れど、その家の面影を感じるものを残したいと、書院や欄間などは旧家で使っていたものを活用。白壁の塀とのバランスが良いように、古民家風の家を新築で建てることに。「ハウスメックさんは古民家のリノベーションを得意とされているので、白壁にマッチする家を建ててくれると思っていました。」Hさんと一家の要望は、薪ストーブとシアタールームを設けること。屋根が高く開放感たっぷりのリビングには薪ストーブが鎮座するが、取材に訪れた11月下旬はまだ暖かく、住みはじめてから一度しか使ったことがないという。西洋漆喰と無垢の木をふんだんに使用しており、心地よい住環境を実現。外気が4℃の日室内は19℃だったというから驚きだ。